

あきらめない 歌い方 メモ

全般的に4拍目での歌い出しが多いので、ことばの頭を逃さないよう、遅れないよう気をつけて歌って下さい。「こころひとつに」の「ろ」など、逆にことばの頭にならない1拍目が強くなりやすいので、こちらにも注意して下さい。

歌集 10p、2段落、歌い出し、1・2番は「mp」での始まりです。1番は冒頭「♪ゆめきぼう高まる気持ち～」少し明るめに。2番は「♪だまってはたらくことになれすぎていた～」少し暗めに。変化をつけたいです。

歌集 10p、3段落、5小節目、「♪きずついたなかまよ～」は「mf」よりは少し弱くして、次のクレッシェンドから「f」へ向かって歌って下さい。

歌集 11p、1段落、「♪けっしてあきらめない～」。1番は4拍、2番は5拍になっているので気をつけてください。

歌集 10p、3番「mf」から始まっているので、2段落、3小節目のクレッシェンドはそれほど意識しなくて良いです。また、少しリズムを立てていきたいです。

歌集 11p、2段落、無伴奏は決然と歌って下さい。楽譜通り、すべて「f」でお願いします。

歌集 11p、4段落、4小節目、「アー」は上から…

- ① トップソプラノ・トップテナー
- ② セカンドソプラノ・セカンドテナー
- ③ アルト
- ④ ベース

とします。なお、この「アー」は労働者の叫びなので、3小節目も含めて、綺麗に歌おうとしないで下さい。

あきらめない 資料

「あきらめない」は2006年11月に行われた雇用集会「円山青年一揆」に共闘して、うたごえのなかでなにか曲が生み出せないか、と創作した曲です。2006年当時に作詞・作曲したものから洛北青年合唱団の創作合宿で講師をつとめて頂いた故山ノ木竹志（新江義雄）氏より助言を受け、さらに2009年の「日本のうたごえ祭典・京都」の運動のなかで安広真理氏に編曲して頂き、現在の曲の形になっています。

創作のきっかけとなった「円山青年一揆」は青年が人として当たり前生きていく為に、ワーキングプアや派遣切りなど青年の働く現状の矛盾を怒りに変え、社会や行政に青年の想い・叫びをぶつけようと2005年・2006年に開催された集会です。その1回目の集会講演で故松原徹氏（日本プロ野球選手会、元事務局長）が昭和55年から始まったプロ野球選手会の歴史や、「近鉄・オリックス合併」反対のストライキの闘いについて話され、青年たちに「決してあきらめずに最後までやりぬくこと」を伝えてくれました。「あきらめない」はそのメッセージを原点として、1人1人の生活が大変で断ち切れようとしている悪循環を断ち、「こころひとつに」に繋がっていこうとつくりました。

2025年になり、曲が生まれてから約20年経ちましたが、消費税が上がったり、物価が高騰したりするなか、給与等の上昇は追いつかず、国民の生活は苦しいままです。今でも、この歌が時代に合っていることが悲しくなりますが、「決してあきらめずに」力を合わせていきたいです。

佐藤 大介